



8月号では、コミュニティ・スクール（学校運営協議会/以下CS）と地域学校協働活動について解説をしました。9月号・10月号では、実際に市内の活動を2校から紹介します。

＜河合小学校地域学校協働本部
地域活動部部长 林志保＞
～リアルな体験を通して
自分から動く力を養う～

河合小学校の地域学校協働本部は、主に学校行事や総合的な学習の時間の地域との接続を担う「学校支

援部」と、学校外の活動において河合町のさまざまな人と関わり地域資源を活用した学びの機会を創出する「地域活動部」に分かれています。

今回は地域活動部で行っている活動と目的をお話します。

まず大切にしているのは、学校外の活動でも学校の教育目標を主軸として活動を行うことです。同校教育目標の「自ら動き仲間とともに高め合う子」を育むために、地域側からはどんな働きかけが大切か、どんな地域での機会があるとより子どもの成長につながるか、を考えCSの会議や地域活動部で検討しています。

コロナ禍で地域での活動が制限される中で、オンライン授業配信の協力や子どもと地域の人が交流をする「多世代交流サロン」、講師を招いた土日の体験学習会などを実施してきました。

子どもたちが学校で学んだことを

実際に地域で活かす場、学校ではできないことに挑戦する場として、放課後や夏休みを活用し河合の伝統産業である山中和紙等の商品開発・販売方法や集客の検討・販売後の利益分配までを大人のサポートのもと学んでいます。

この活動を通して、各児童が自分の可能性や強みに気づき、自分から動くことのやりがいや楽しさを感じてくれることを願っています。



地域資源を使った商品開発等に取り組む様子

問 学校教育課 ☎0577-73-7494



キンモクセイ

街を歩いていて、風に乗ってキンモクセイの良い香りが漂うと思わずそちらを振り返ってしまいます。

毎年この時期、楽しみにしている香りのひとつです。昔はキンモクセイといえばトイレの芳香剤の代表格だったので、今でもイメージが良くない人が多いのですが、自然のキンモクセイの花の数軒隣くらいまで漂う甘い香りは、いつまでもそこにいたくなるような気持ちにさせてくれます。そんなキンモクセイは空気の汚いところでは花をつけなくなるそ

うです。この花の香りがしたら空気が綺麗なのだと思えますね。

キンモクセイの花は、そのままはもちろん、乾燥しても良い香りがします。そのため中国では桂花茶というお茶になっています。また、台湾から花を麦芽糖に漬け込んだ甘味料をもらったことがあります。どちらもこの良い香りをうまく利用していますね。

このキンモクセイの小さくかわいらしい花は時期が経つと落ちて、まるで雪の粒のように散らばるのですが、花を活用するなら樹に残っているうちに採取しましょう。香りが強く残ります。

キンモクセイの花には芳香性健胃、精神安定作用があり、胃炎、腸炎、低血圧、頭痛、不眠に効果があります。花を氷砂糖と一緒にホワイトリカーに漬けてみましたが、香り高い美味しいお酒ができました。毎

晩少しずつ飲んでいると疲れが取れ、気持ちが落ち着きます。

枝葉は乾燥させて浴湯料とすると、神経痛、リウマチ、筋肉痛に効果があり、その際に花も一緒に風呂に入れるとリラックスできていいですね。



効能	芳香性健胃、精神安定、不眠など
採取先	市街地など

問 地域振興課 ☎0577-62-8904